

嘉麻市社協だより

えがお

No. 122

表紙の「えがお」の題字は、熊本県水俣市にある小規模多機能事業所「ほっとはうす」を利用されている加賀田清子さんに書いていただきました。



もしもの時に備えて

災害ボランティアセンター設置運営訓練



資材班

炊き出し班



ボランティア受付班



ニーズ受付班



マッチング班



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 福岡県嘉麻市岩崎 1143-3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>
FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

<https://www.facebook.com/kama.swc>

発行日 / 2016.4.1

更生保護について学ぶ ～ 私たちにできることは ～

平成28年2月29日（月）、夢サイトかほで福祉のまちづくり研修会を開催しました。

かま自立相談支援センターでは、様々な理由で生活に窮する方々の相談を幅広く受けつける中で、これまでかかわりの薄かった更生保護に関する相談に対応しました。本会は、「だれもが安心して暮らせるまちづくり」を目標に掲げて地域福祉活動を推進しています

が、だれもがと言いつつ、刑余者の方は含まれていなかったのではないかと、このこと、相談を通じて気づかされました。そこで、「刑務所を出所した方が、地域の一員として生活していけるように…」と深めよう司法と福祉の連携をテーマに、福岡刑務所 分類審議室 福祉専門官の中川典子さんと、法務省 福岡保護観察所 飯塚駐在官事務所 上席保護観察官の北川史史さんをお招きし、それぞれの立場から話していただきました。

中川さんは、刑務所内の

受刑者の生活や刑務所から見た地域の課題について話され、その中で、軽度の知的障がいを持ち、複数回の逮捕歴があったAさんが、福岡刑務所を出所後に起こした下関駅放火事件について触れられました。事件後、Aさんは弁護士に「友達もいない外は怖かった。刑務所に戻りたかった」と話された事を紹介されました。

北川さんからは、更生保護の仕組みや今日の現状について分かりやすく話していただきました。その中で、刑務所を出所した方には、安心して生活できる住まいや生活の糧となる仕事、社会の中での居場所が必要であり、いずれかが欠けると再犯に至る可能性が高くなると話されました。

参加された方からは、「出所前からサポートし、関係機関だけでなく地域とつながれる仕組みが必要だ」や「自分の中にある偏見は、誰もが持っている。だからこそ、自分ができることを考えていき

たい」などの意見がありました。

お二人の話を聞き、刑余者だからと偏った見方をするのではなく、生きづらさを抱え、悩みながらも懸命に生きておられる1人の人として向き合い、その方思いに寄り添うことが大切だと感じました。また、事件後弁護士に語ったAさんの言葉は、現在の地域の有様を物語っているように感じ、これからも、この問題を地域のみなさんと一緒に考えていきたいとの思いを強くした研修会となりました。



福祉のまちづくりをみなさんと共に

～平成28年度の社協会員を募集します～

嘉麻市社会福祉協議会は、今年度も市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくために、会員を募集します。

みなさんから納めていただく会員会費は、本会の地域福祉活動や新たな福祉課題に対応するための事業等の財源として活用させていただきます。会員は、年間を通じて募集しておりますので、ぜひご加入いただき、福祉のまちづくりにご参加ください。

会員の種別

【個人会員】

1口1,000円

【法人・団体】

1口1,000円

入会の方法

①社協窓口にお越しいただける方

窓口で入会申込書をご記入いただき、今年度の会費をお支払いいただきます。

②集金をご希望される方

社協までご連絡をお願いします。地区によって集金方法が異なりますので、ご案内いたします。

③市外の方

氏名、住所、連絡先を記入の上、現金書留もしくは郵便小為替で本会まで郵送ください。

【お問い合わせ先】 嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

【お詫びと訂正】

前号（121号）2ページの10周年記念式典の記事の中で、表彰を受けた方のお二人のお名前が掲載されておりませんでした。深くお詫びし、訂正させていただきます。

【会長感謝】

東美那子さん 山下三千子さん

また、8ページに掲載いたしました「法人運 営INFORMATION」の地域福祉推進委員会委員名簿の中で、大塚加代様のお名前を、「大塚カヨ」と記載しておりました。深くお詫びして訂正させていただきます。

学んだことを地域での支えあいの活動に

市民後見人養成講座基礎編閉講

昨年11月27日から市民後見人養成講座基礎編を開催し、受講者の皆さんは、成年後見制度の内容、関連する法律や制度の内容、対象者の特性理解、後見人としての心構えなど、12日間にわたり、29のカリキュラムを受講してこられました。

最終日の2月23日には、かま権利擁護センターの木山淳一センター長を講師として、これまでの研修の振り返りを行いました。

その中では、人を援助、支援するうえで、知識、技術、価値の3つの要素が大切であること。その一つである価値はその人の知識や経験によって形成されるものであり、それぞれ異なることが前提であること。そのため、相手との信頼関係を築いていくためには価値観を受け入れ、自分がどのような価値観を持っているのかを知る自己覚知が重要

であることを学びました。

その後のグループワークでは、複数の見え方をする絵を見て、グループのメンバー同士で伝えあいました。このワークから、一つのものごとを見ていても、相手が自分と同じように見えたり、感じたりしているとは限らないこと、どの視点に立って物事を見るかによって、見え方は変わってくることなどを学びました。

閉講式では、本会の村上会長が15名の受講者に修了



証を渡しました。

修了者のお一人は、「とても長くて、大変だったけれど、たくさんのことを学ぶことができた。この経験をこれから活動に生かしていきたい」と話されました。

来年度には、基礎編修了者を対象としたフォローアップ講座を開催し、さらに学びを深めていくことにしており、皆さんとともに、地域で支えあう取り組みを進めていきたいと思えます。

空き家管理住まいるサービス

嘉麻市社会福祉協議会では、市内の空き家を適切に管理していくことで、皆さんに安心をお届けする「空き家管理住まいるサービス」を実施しています。

現在、7軒の空き家を管理し、毎月の基本サービスのほか、ご希望に応じて、草刈りなどのオプションサービスも行っています。

嘉麻市内にある空き家の管理でお悩みの方は、ぜひご利用ください。なお、利用条件等詳しい内容については、お気軽に下記までお問い合わせください。

利用料金

・基本サービス

●3,000円/月



・オプションサービス

- 掃除：700円/1時間
- 近隣訪問：200円/1回
- 草刈り：3,000円/2時間程度
- 草取り：2,000円/2時間程度
- 剪定：2,000円/2時間程度

【お問い合わせ先】

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

成年後見Q&A



Q Aさんは、後見開始の審判の申し立てをしているところです。Aさんは、最近、誰かに財産をだまし取られそうになっています。後見開始の審判がなされるまでの間にも、財産を失ってしまう恐れがあります。Aさんの財産を守るために何か方法はありませんか？



A 審判前の保全処分という方法があります。審判前の保全処分とは、後見開始の審判の申し立て中もAさんの生活は続いているので、その間の権利侵害を防ぐためのものです。

(家事事件手続法第105条第1項)



今月のブログ

2016年2月21日(日)

今日は、天気に恵まれ、市内で行われたイベントは、たくさんの方で賑わっていました。

山田学習館周辺では、楽しく走ろうふくおか子ども駅伝in嘉麻が開催されました。

この大会は今年で26回目を迎えます。毎年実行委員会のみなさんがこの日に向けて準備を重ね、当日はコースの安全確保や場内の清掃活動、テントの設営、撤去など様々な役割をボランティアの皆さんが担われています。

コース沿いには、家族やチームメイトなどたくさんの方が集まり、ランナーへ熱い声援を送られていました。

また、下山田の大砲白馬山梅林公園は、観梅期間(2月14日～3月13日)を迎えています。

花はまだ見ごろには少し早いようですが、大法白馬山観光協会の方々の売店では、観梅に来られた方がお茶やうどん、餅などを買って求められていました。

協会の方に話を伺うと、「昨年から行われていた整備工事も終わって、園内を散策しやすくなったので、たくさんの方に梅を見に来てもらいたい」と話されていました。

(T)



2016年2月28日(日)

2月27日、28日は、職員10名で全国社協職員の集いin福岡に参加しました。私が参加した分科会3は、「社協活動の再検証『私』の立ち位置を問う」といいます、社協に求められていること」というテーマでした。

今日は、昨日に引き続き講師の高石伸人さん(NPO法人ちくほう共学舎「虫の家」事務局長)を交えて、日常業務を見つめ直す討論会を行いました。3名の話題提供者から、①担当者会議や専門職ネットワーク会議が、

地域で暮らせないことの合意形成の場になっていないか②未だ出会えていない本場に支援を必要としている人とつながり、取り組んでいることについて③本人のニーズが社会のルールに反するとき、自己決定をどう尊重するかなど、実践を通じて感じる疑問の提起があり、「私は」の一人称で意見を交換しました。

最後に、「社協活動の現在を問う視点」というテーマで、高石さんが総括をされ、専門家ゆえのパターンリズムに陥りがちであることを常に意識すること。支援という言葉が流行っているが、支援される側は切ないのではないだろうか。リスク社会と言われるように犯罪、貧困など様々なリスクが避けられない現代だが、そのリスクを自分が負わないとは言いきれず、リスクをみんなで支え合うという方向に合意形成されなければならぬこと。エンパワメントが強調されるが、それは自分のことは自分でしなきゃという自己責任論に回収されていかないか。「弱くていいんだよ」と伝えることも、ケースによってはとても大切なのではないか。という問いかけをいただきました。個別事例のうしろには状況があり、近代化により何を失ってきたのかということを経験からしっかりと学んでいかなければならないと話されました。そして、憲法改正で、基本的人権の尊重が危がまれる今日、社協で活動する私たちにとってとても危機的な状況であり、今、踏ん張らないといけない時であるということと言われました。限られた時間であったため、全国のみなさんと十分な討論をすることができませんでしたが、私の立ち位置を問うことで、常に心において考え続けていかなければならないことを学びました。

(M)



ご案内

在宅介護者の集い

在宅で介護をされている方々が、いろんな情報交換をし、楽しくリフレッシュしています。

●4月14日(木)

稲築住民センターにて

●5月12日(木)

(岩崎1143番地3)

山田ふれあいハウスにて

※時間はいずれも13時～15時までです。

ひきこもり家族の集い

ひきこもりの家族を持たれている方々と、いろんな悩みを話したり、情報交換をしたりしています。

●4月28日(木)

●5月26日(木)

※時間はいずれも13時30分～15時30分までです。

フリースペース

家から一歩外に出て自由に過ごせる居場所です。話をしたり、パソコンをしたり、思い思いに過ごしていただけます。

毎週木曜日 13時30分～15時30分

●4月7日、14日、21日、28日

●5月12日、19日、26日

※ひきこもり家族の会、フリースペースの開催場所はいずれも寄ってこハウスです。

《お問い合わせ先》

嘉麻市社会福祉協議会

☎0948・42・0751

Email: tiiki@kama.sakyo.com

かま ボランティア 市民活動センター情報



嘉麻市で災害が発生した際、市からの要請を受けて、本会が災害ボランティアセンターを設置、運営することになっていきます。

災害ボランティアセンターとは、被災された方の困りごとを把握し、何かに役に立ちたいという思いをもつて来られるボランティアさんの力を借りて、その困りごとの解決のための支援を行うものです。

3月5日（土）、午前9時から、稲築住民センターを会場に災害ボランティアセンター設置運営訓練を行いました。

今回は、嘉穂総合高校、大隈城山校、嘉穂東高校、嘉穂高校の生徒の皆

もしもの時に備えて

災害ボランティアセンター
設置運営訓練

さん、福祉推進員、福岡県精神保健福祉士協会、飯塚青年会議所、市防炎対策課、本会職員など57名の参加を得て実施しました。

本会の木山事務局長から災害ボランティアセンターの役割等について説明したのち、地震によって遠賀川の堤防が決壊し、岩崎地区に床上、床下浸水が発生しているという状況を想定した訓練に移りました。

ボランティア活動希望者の受け付け、被災者からの困りごとの受け付け、活動先の決定、必要資材の受け渡し、そして、活動先から戻ってからの報告までの訓練を、役割を交代しながら行いました。

訓練後は、炊き出し班が作った炊き込みご飯、味噌汁をみんなで食べ、午後からは、各グループでの振り返りを行い、その内容を全体で共有しました。

その中では、「ボランティア役をしたが、地図が分かりにくかった。その地域の住民の方に案内役を頼むことができればもっとスムーズに被災者宅まで行くことができる

と思う」といった意見や、「マッチング班では、全体のボランティア数を把握できておらず、ニーズはたくさんあるのにボランティアの数不足に悩まされた。優先順位をつける必要があるし、また他の班との連携がとれない」といった意見もあつた。

この訓練を通じて、ボランティアの役割や活動の流れ、また、被災者の困りごとやニーズを把握し、適切な支援を行うための重要性が、参加した高校生やボランティアの皆さんに伝わった。

また、初めての経験だった高校生やボランティアの皆さんは、「災害ボランティアセンターがあることを自分たちで知ることができた。訓練に参加して、もし災害が起きたときに自分たちでできることをこれから考えていきたい」と話してくれました。



ボランティア募集情報

うすいの里では、毎日のレクリエーションのお手伝いや補助をしていただける方を募集しています。

- 日時** 月曜日～金曜日
※可能な時間帯で構いません。
- 場所** うすいの里（嘉麻市下臼井 1055）
- 内容** レクリエーションの補助、行事のお手伝い、話し相手など
- 備考** 動きやすい服装でお願いします。

住宅型有料老人ホームひばりでは、利用者さんの介護援助などをお手伝いしてくださる方を募集しています。

- 日時** 月曜日～金曜日
10時～17時
- 場所** 住宅型有料老人ホームひばり
（嘉麻市漆生 1393 番地 5）
住宅型有料老人ホーム喜楽苑
（嘉麻市漆生 1416 番地 3）
- 内容** 利用者さんの介護援助、軽作業など
- 備考** 動きやすい服装でお願いします。

【お問い合わせ先・お申し込み先】 かまボランティア・市民活動センター ☎0948-42-0751

今月の一冊

てんきのいい日はつくしとり



石川えりこ さく・え
福音館書店



この絵本の作者は、嘉麻市出身の石川えりこさんです。2年前にも本会広報紙100号で、炭鉱の思い出が綴ってある絵本「ボタ山であそんだころ」を紹介させていただいたことがあります。

今回の絵本は、おばあ

ちゃんとお兄ちゃん、お姉ちゃんをつくしとりに行った女の子の話で、舞台は、稲築地区の白門付近です。遠賀川沿いの土手や山、小川などが出てきます。

真剣な表情でつくしを見つけようとする様子や

次々と見つかる喜び、自然の生き物とふれあう面白さ、春を感じてつくしを食べる楽しみなどが書かれています。絵本のあちらこちらに、嘉麻市の見慣れた景色や自然の恵みが広がっていて、和やかな気持ちになります。

また、裏のおまけのページには、はかま通りの様子やつくしの卵とじの作り方がかわいらしく書かれていて、思わず微笑んでしまいます。嘉麻市の自然の美しさ、恵みを感じることが出来る爽やかな1冊です。(きはら)



炭鉱の記憶

No.109

右下の写真は、下山田小学校の昭和37年の卒業記念誌に掲載されたものです。

今回は、昭和36年から10年間、下山田小学校の教壇に立たれていた酒井照正さん(新原在住)に当時の様子を伺いました。

酒井さんの父親は古河鉱業下山田炭鉱で、仕練りの仕事に従事していました。これは、掘り進められた坑内を木杵などで補強する仕事で、常に崩落などの危険と隣り合わせでした。そのため、事故の知らせが入ると、「お父さんじゃないか」といつも不安でたまらなかつたそうです。

酒井さんは小学校の先生となり、2年目から地元の下山田小学校に赴任されました。その2年前の昭和34年には、下山田にあった日炭山田炭鉱が閉山するなど、石炭産業に曇りが見え始めた頃でしたが、それでも一学年に、50人のクラスが6つもあったそうです。「運動会なんかは場所取りも大変で、人が外にはみ出るんじゃないかと思うくらいやったよ」とその人数の

多さを語ります。

4つの小学校(熊ヶ畑、上山田、大橋、下山田)には、

写真のような鼓笛隊がそれぞれ組織されていて、5年生の生徒が6年生を送るために演奏していました。市のイベントなどの際にも活動し、パレードの列はずっと奥まで続いていました。

これ以降、石炭産業はエネルギー革命の影響を受けて衰退し、人口も児童数も減少の一途をたどるようになります。

生徒数が減れば、必要な



街中をパレードして回る鼓笛隊の様子

先生の数も減って、北九州や福岡へと転出した仲間達もたくさんいたそうです。空いた教室は物置場となりました。酒井さんは、「子ども達は友達が転校していき、別れのさびしさを感じていたと思います。でも、この経験から友達を大事にすることの大切さを学んだ子ども達もたくさんいたと思います」と語られました。

5月の総合相談

法律相談

と き：5月12日(木)
13:00~16:00

ところ：山田ふれあいハウス

と き：5月19日(木)
13:00~16:00

ところ：稲築住民センター

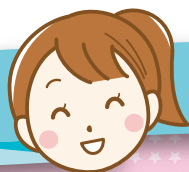
※法律相談は予約が必要です。先着順となっているので、お早目にお申し込みください。

心配ごと相談

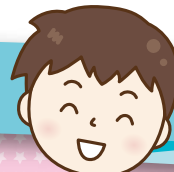
と き：5月11日(水)
13:00~15:00

5月25日(水)
13:00~15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも稲築住民センターです。



今月のえがお

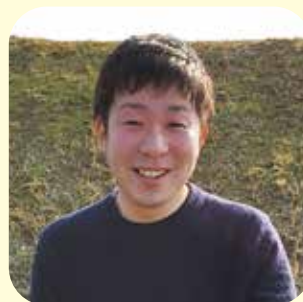


最近えがおになった出来事を教えてください！



森下 雅基さん

先日、大会で大分に行きました。その時に東京にいた時の同僚に再会できてとても嬉しかったです。



藤嶋 祐也さん

久しぶりに友達と鹿児島へ旅行に行きました。とても楽しく、笑顔になりました。

山田ふれあいハウスからのお知らせ

山田ふれあいハウスの子育てリユースセンターには、使わなくなった子ども服、中学校や高校の制服など子育て用品が揃っています。しかし嘉麻市内や近郊の中学校・高校の制服、体操服、通学かばんなどは、学校ごとで違いがあり、服のサイズもあるため、ご希望の用品が見つからない場合があります。数多く揃えたいと思いますので、お子様の卒業後、制服等がございましたら、ぜひ子育てリユースセンターにお寄せください。



なお、衣類をお寄せいただく際は、洗濯をお願いいたします。

連絡・問い合わせ先

山田ふれあいハウス嘉麻市上山田502番地6

☎0948-52-1847



平素より地域の方々にご利用いただき、感謝申し上げます。
今後も地域に根付いた葬祭場として、微力ながらもお役に立てますよう、社員一同知識の向上に精進して参ります。
葬儀についてご不明な点などございましたら、お気軽にご来館、お問い合わせください。



指定葬祭場紹介

おかむら葬祭 岡村会館

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、おかむら葬祭を含め、市内に8ヶ所あります。

飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241
きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎62-4499
ひさつね会館……………☎52-0758
いすや会館……………☎57-4444

セレモニーホールおおつか……………☎52-1212
かほ葬祭 あじさい会館……………☎62-5566
善光会館 稲築会場……………☎83-5000

みなさまの善意、心より厚く、お礼申し上げます。

香典返し・寄附

2月1日～2月29日受付分

●香典返し

【漆生老松】	親族 岩橋 多美子 様
故 岩橋 義彦 様	
【鴨生町】	親族 渡邊 由喜子 様
故 渡邊 藤枝 様	
【熊ヶ畑第二】	親族 廣瀬 鈴子 港 様
故 廣瀬 鈴子 港 様	
【尾浦第一】	親族 矢野 義博 様
故 矢野 博三 様	
故 矢野 ツギエ 様	
【中山田下】	親族 柴田 由美子 様
故 柴田 秀喜 様	
【五日町】	親族 小林 保子 様
故 小林 久信 様	
【屏】	親族 倉内 敬二 様
故 倉内 サダ子 様	
【桑野】	親族 畑 清代子 様
故 畑 政次 様	
【宮吉】	親族 有田 秀一 様
故 有田 孝 様	

【上】

親族 熊本 京子 様	
故 熊本 三十八 様	
【上臼井下】	親族 伊藤 一男 様
故 伊藤 富美子 様	
親族 佐谷 博俊 様	
故 佐谷 富美子 様	
親族 山下 廣司 様	
故 山下 トヨ子 様	
【下臼井東】	親族 山下 ヒサエ 様
故 山下 年雄 様	
【飯塚市】	親族 伊藤 慎一 様
故 伊藤 秀雄 様	
【一般寄付】	嘉穂の名水愛好者一同 様

●寄附

【子育てリユース】

漆生本村 佐藤麻理奈 様	
漆生本村 匿名 様	
漆生東 匿名 様	
熊本 中島 瞳 様	
百々谷 佐藤 麻美 様	
さくらが丘 高鍋 仁美 様	
大隈 大里 理子 様	
上牛隈 安河内 隆 様	
下牛隈 内田 鈴代 様	
牛隈北区 永末 仁美 様	
飯塚市 廣瀬 陽子 様	

【アルミ缶】

飯塚市 滝沢 千鶴 様	
飯塚市 樋口ますみ 様	
漆生本村 匿名 様	
漆生中央 田中茶舗 様	
漆生南部 岩田 勇治 様	
漆生南部 西田 幸子 様	
稲築才田 匿名 様	
鴨生第一 伊藤喜代益 様	
平第二 匿名 様	
新山野 匿名 様	
百々谷 吉元 悦子 様	
百々谷 橋本 利根 様	
中央 明石 睦則 様	
嘉穂才田 山口みどり 様	
三日町 中村 敏隆 様	
芥田 大野スマ子 様	
九郎原 嶮 名 様	
嘉麻市商工会 名 様	
石ヶ崎シニアクラブ 名 様	
松岡自動車 名 様	
【リングプル】	
稲築才田 匿名 名 様	
口春 高木久美子 様	
鴨生第二 鬼塚多美子 様	
下宮 森 茂 様	
古河 甲斐 良子 様	
下益 匿名 名 様	
三日町 中村 敏隆 様	
上牛隈 梶原ヨシ子 様	
芥田 大野スマ子 様	
下山田小学校 名 様	
長内寺仏教婦人会 名 様	
石ヶ崎シニアクラブ 名 様	
初井電機商会 名 様	
【古切手】	
鴨生第一 伊藤喜代益 様	

鴨生町 匿名 名 様	
筑紫 豊田 敏雄 様	
稲築ゆめが丘葉月団地 様	
平和舗道(株) 様	
教育ナビゲーション(株) 様	
【アルミ】	
古河 塚原 京子 様	

あなたの会費が、
社協の地域活動を
支えています

会員として、次の方々に
ご加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます。)
(順不同で掲載しています。)

2月1日～2月29日受付分

〈東岩崎〉杉本由里佳、嶋田眞知子	
〈山野第二〉大神賢一	
〈辻中簞〉中並菊子、久家ヨシ子、高木かつみ、永水修一、松岡勝利、永水敏光、手島嘉博、常藤文子、永水久喜、平田優男、島田照子、吉椿多賀志、稗田恭子、後藤一雄、田中徹、米原太輔、住吉ツル工、曾我キヨ子、田中エミ子、國武光成、手島幸弘、田上義男、釜堀純子、小林隆良、永水幸子、松俵義博、小林喜之、永水米蔵、中並龍	

夫、永水恭典、中條凌一、永水元和、穴見英徳、篠崎賢豪、緒方宏蔵、小林サツキ、常藤哲次、高木ふじ子、手島隆子、永水登美子、中並隆、中並美潮、永水正弘、永水房子、山本興司、山口和子、坂田壽子、奥園多美子、有古廣行、松岡幸夫、草場静六、脇田洋、大山薩子、曾我忠、半田正市、築地原英起、千代野一雄、花田光隆、大山静馬、大山時彦、大山章、大山ハツ子、曾我秀治、田代栄子、大山利美、笹月守、廣畑浩司、大山富士子、水上信子、上提政明、原部千代美、今宮博美、永水伸幸、松岡教知、藤崎力子、山下タエ子、横谷ツタ工、瀧本貞子、山平正行	
〈漆生老松〉木山淳一(2口)	
〈飯田〉山元百合子	
〈熊ヶ畑第二〉米満正雄、大田守、大田桂子、道手フジ子、渡部豊子、広瀬澄夫、大里悠治	
〈大橋〉明石昌土	
〈中山田下〉加藤結花	
〈大隈〉斎藤ゆかり	
〈三日町〉中村敏隆、中村郁子	
〈下牛隈〉元春加代子	
〈芥田〉大屋瑞枝	

ふさとへの手紙

No.122



長崎市在住 猿渡光子さん
昭嘉出身

今日に感謝、明日に希望！

社会に出て、「出身は？」と聞かれると、幼稚園・小中高校と十六年間住み慣れた「福岡筑豊です」と、ふるさと碓井を答えている私がいいます。

それは、かつて日本のエネルギーを支えた筑豊炭田、炭坑の町は活気に満ち、遠くに古処山を仰ぎ、自然の中で、私は、友と家族と四季を味わい楽しみ、熱心な先生方、地域の方々に見守られながら育まれた私だからです。

春は、永泉寺の桜の木の下で、母の手作りの弁当を友と食べ、境内を駆け遊び、花祭りに友と長源寺のお釈迦様に甘茶をかけ、手を合わせ祈り、夏は、千手川で友と川石を飛び泳ぎ、冬は「火の用心 マッチ一本火事の元」と夜の炭住街を回り、綺麗な街にしようと、炭住

街の道路を友と大きい箒でヨイシヨイシヨと掃き、元氣印の小学時代。支えて下さったのは、加藤宝先生はじめ熱心な先生方でした。学ぶこと・考えることの楽しさを教え導きいただき、卒業時、「みんなで富士山へ登ろう」と私達を勇気づけて、中学へ送り出してくださいましたこと等、六十年経った今も忘れることはありません。

中学時代の長谷山古処山植物採集、何よりボタ山のススキの間から見つけたナンバンギセル。図鑑とにらみあって粘り強く調べ、あの日々が今日に連動し、声かけあう仲間達・宝物がふるさとにはいっぱいでした。

碓井中学同窓会では「よく歩いたな、歩かされたな」と、心身の鍛練遠足、運動会の行進練習などで耐え鍛えた足腰で集い、励ましあってパワーアップ。その私達もそろそろ後期高齢者の仲間入りですね。それぞれの地で自立して生活。

ふるさとから、笑顔・元気を発信して下さい皆様感謝。
今年は申年、しっかり「見ます 言います 聞きます」で、過ごしたいものです。

今日に感謝、明日に希望！

編集後記



(きはら)

今年度の広報のテーマは、積極的出会い主義です。地域のみなさんとこれまで以上に会っていきながら、広報活動に取り組みます。突撃レポートしていきますので、ぜひご協力ください。



(みぞくち)

「昨日泣きながら書きました」と、5ページのお手紙を持って来ていただきました。「出会い感動」と書かれていますが、本当に一つの出会いが私にとってどれだけ大きなものかということを知り、胸がいっぱいになりました。



(たけがわ)

災害ボランティアセンター設置運営訓練では、様々な機関の方にご参加いただきました。日ごろからの連携がいざというときに役立つのだと思います。これからその関係を広げ、深めていきたいと思っています。



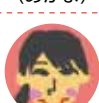
(おがわ)

福祉のまちづくり研修会では、更生保護について学びながら、誰もが排除されない地域づくりについて考えました。これで終わりではなく、今後もこの問題について考えていきたいと思っています。



(あかま)

今月のえがおの取材をさせていただき、快く応じてもらえました。とても素敵な笑顔に出会うことができ、鹿児島へ旅行に行った楽しい話を聞かせてもらえました。



(ごうはら)

炭鉱の記憶で取材した酒井さんのお宅には、教員をされていた頃に撮られた生徒さん達の修学旅行や遠足の写真が大切に保存されていました。生徒さん達は満面の笑みで、どれもあたたかい写真ばかりでした。



(まる)

今月のえがおで取材した方は大会で行った大分で、10年ぶりに同僚に再会できてうれしかったと言われていました。私も長い間会っていない友人を思い出し、会いたくなりました。

社協だよりクイズ

「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に、図書券(千円分)をプレゼントします。

問題

2ページの福祉のまちづくり研修会では、何について学んだのでしょうか？

(1) 生活保護 (2) 更生保護 (3) 環境保護

応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、4月30日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

送付先

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3
嘉麻市社会福祉協議会 E-mail: tiiki@kama.syakyo.com

前号のクイズの答え (3)

フリースペースたまりば理事長の西野博之さんは、子どもに安心感を伝えることが大切だと言われました。

応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

- ・ふるさとへの手紙は、いつもながら深い感銘を覚えます。楽しみです。
- ・炭鉱の記憶は、本当に懐かしい。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。